## びわこ文化公園植物だより〔β 版〕

## ウワミズザクラ バラ科

学名 Padus grayana



ウワミズザクラの果実(2023年7月1日撮影)

近年の梅雨は真夏のような暑さと集中豪雨のセットが印象的な毎年でしたが、今年 2023 年はジメジメと蒸し暑く天気予報に雨マークが並ぶような毎日が続いています。雨が降り続いているわけではなく晴れ間がのぞくので、植物にしてみたら陽光と水に恵まれ、ぐん

ぐん成長するのに都合が良く、少し見ない間に大きく生い茂っています。そんな中、春に花を付けた植物たちも果実が成熟し、実りの時期を迎え始めました。公園内で見かけるテンの糞の中身がヤマザクラやカスミザクラの果実が中心だったものから、ヤマモモ中心に変化してきています。そして次に成熟してテンの餌になりそうなのがウワミズザクラです。

ウワミズザクラはバラ科ウワミズザクラ属の落葉 広葉樹で、瀬田丘陵では樹高 15m 程度に達する樹木 です。林冠に達する個体は多くなく、亜高木層を構成



ウワミズザクラの樹皮

する主要な樹木です。若い枝は紫褐色、樹皮は暗紫褐色で、いわゆる桜肌の樹皮をしています。ソメイヨシノやヤマザクラなど普段目にするサクラ類の樹皮よりは皮目が横に細長く見えるので、慣れてくれば樹皮だけで見分けられるかもしれません。

葉は長楕円形で両面無毛、長さが 10cm 内外、葉の 先端が長く尖る印象です。葉の周囲は鋸状の鋸歯で覆 われ、葉柄は 1cm 程、葉の基部に腺点があります。植 物の中には葉に蜜腺ともよばれる腺体を持ち、アリを 集める種類があります。アリに葉の周辺を歩き回って もらい、葉を食べる昆虫類を寄せ付けない働きをして います。サクラ類も葉に腺体を持つ種類があります。そ の多くの枝と葉を繋ぐ葉柄の上に腺体が出来ますが、 ウワミズザクラは葉の基部に出来ます。この点がウワ ミズザクラの特徴かも知れません。ウワミズザクラの 材の上面に溝を彫って亀卜に使ったので、上溝櫻とよ ばれ、ウワミズザクラと訛ったと言われています。ハハ カ、コンゴウザクラという異名もあります。

ウワミズザクラを紹介するなら、春の開花時期の方が特徴的で良かったのかも知れません。よく見かけるサクラ類は直径 3cm くらいの花を数個まとまって付けるのですが、ウワミズザクラは直径 1cm くらいの白い花を房状に付けます(総状花序)。今年芽吹いて葉が開いて 10-15cm になった枝先に 6-10cm の花序が出て花を付けます。花が咲くのと同時に葉を出す



ウワミズザクラの花序(2023年4月20日撮影)

ヤマザクラや、花が終わってから葉を出すソメイヨシノなどのサクラ類とは異なり、葉が完全に開いてから花を付けるのも特徴です。もちろん、総状に花を付けるのも特徴的です。里山で見かけることのあるイヌザクラも総状の花序がつきますが、花序がつく枝と葉がつく枝が別々です。ウワミズザクラは葉のつく枝の先に花序がつくので、イヌザクラとの違いは分かりやすいです。ウワミズザクラに比べればイヌザクラは珍しいので、この地域でサクラの開花時期に総状に白い花を付ける落葉樹はウワミズザクラと考えてもらって良いと

思います。葉が開いてから花を付ける特性からか、ウワミズザクラは3月中旬には芽吹き始め、落葉広葉樹の森をほんのり黄緑に色づける役割を果たします。花の咲く時期は、図鑑類には5月に開花と書かれているのですが、瀬田丘陵では4月中旬頃に開花します。2023年は4月上旬に開花し始めたのですが、個体によって花が咲く時期のバラツキが大きく、4月下旬まで一部の個体が開花していました。例年は1週間から10日程度の開花期なので、3週間以上開花が続いたのは珍しく感じました。開花期間が長かったためか、今年は果実の成熟が良く、そろそろ見頃になってきました。



ウワミズザクラの芽吹き(2023年3月21日撮影)

総状花序の花一つ一つが果実に成長しますが、例年 は結実に至るのは 3 割程度。今年は 7 割程度が結実 し、枝がやや重そうに垂れ下がります。果実は長さ 6-7mm の卵円形で先はとがり、黄色、黄赤色、赤色を経 て黒熟します。新潟県では、若い果実の塩漬けにした ものを杏仁子(きょうにんし)とよんで食べるようです。 不老長寿に効能があるとされ、風味と香りを味わうと のこと。成熟した果実は苦みが増し食用にはなりませ ん。熟して苦みが増すという植物も少し珍しいです。人 間の食用に向かない果実ですが、体重の軽いテンが枝 に登り器用に集めて食べていきます。テンが食べるの は赤黒く色づいた果実です。今年はいつまで果実を楽 しめるでしょうか?

## (参考文献)

- 1) 北村四郎·村田源「原色日本植物図鑑 木本編 II」(保育社, 1979年)
- 2) 岡村はた・橋本光久・室井綽「新訂・図解 植物観察事典」(地 人書館、1993年)

(龍谷大学 先端理工学部 横田岳人)